

| | | | |
|-----------|-------------------------------|------|-----|
| 部会名 | 令和 2 年度 第 1 回 権利擁護部会 | | |
| 日 時 | 令和 2 年 8 月 27 日（木）10：00～12：00 | | |
| 場 所 | 板橋区役所北館 9 階 大会議室 B | | |
| 参加者 | 委員 13 名、事務局 4 名 | | |
| 会議の公開（傍聴） | 公開（傍聴できる） | 傍聴者数 | 2 名 |

○報告事項

（１）障がい者差別の相談等対応状況について

| | 差別に関する相談 | 合理的配慮に関する相談 | その他 |
|---------|----------|-------------|-----|
| 令和元年度 | 1 件 | 6 件 | 3 件 |
| 令和 2 年度 | 0 件 | 1 件 | 1 件 |

- ・令和元年度、令和 2 年度(8 月 15 日時点)に係る相談内容及び対応状況を共有

（２）障がい者虐待の通報等受付状況について

| | 通報件数 | 虐待認定件数 |
|---------|------------|--------|
| 令和元年度 | 50 件（50 件） | 8 件 |
| 令和 2 年度 | 20 件（20 件） | 2 件 |

- ・令和元年度、令和 2 年度(8 月 15 日時点)に係る相談内容及び対応状況を共有

※（ ）は同一内容に係る通報等の重複分を除いた実件数

- ・令和元年度、2 年度(8 月 15 日時点)の虐待の事実が認められた事案について、内容及び対応状況の共有を行った。

（３）障害者差別解消法セミナーについて

権利擁護部会共催で開催予定。内容について事務局から説明を行った。

（主な意見）

- ・差別解消に関する相談件数が少ない。どのような理由が考えられるか。どこに相談していいかわからない人が多いと感じるので、広く周知して欲しい。

⇒わかりやすいホームページ作成等など、周知方法について検討していく。

- ・虐待通報と認定件数の差に乖離があるが、どのような時に認定となるのか。できれば当事者の立場を擁護する人を入れて欲しい。本人が納得していないケースもあると思う。

⇒事実確認調査をしたうえで、関係機関と協議し、虐待の事実があると判断できたものを認定し、件数にあげている。

- ・虐待対応の基準、プロセス、アフターケアも含め、虐待認定の見える化をして欲しい。

- ・差別解消法セミナーの申し込みはどのようにする予定か。

⇒電話やメールで受付可にする。板橋区在住等、限定的なことはしない。また、コロナの関係で開催できない可能性があることを踏まえ、周知方法を考えていく。

- ・昨年度の講演に出席したが、とても良いセミナーであった。ただ、出席人数が少ないように感じたので、是非区の職員にも周知し、傍聴して欲しい。

(4) 障がい福祉計画等の策定について

- ・緊急一時保護事業として、近年、障がい児の利用が増えている。障がい児を緊急的に受け入れられる場所が少ないと感じるので、受け入れ先を充実させてほしい。
- ・コロナの状況下で各施設の役割が変わっていくのではと思う。計画の中でも、そのあたりに触れて欲しい。
- ・福祉園と地域の交流する機会（福祉園まつりなど）が、コロナを理由になくなってきている。できるところから、通常の体制に取り戻すことが必要。繋がりが減って心配している。今年できなかった分、来年度は盛大に福祉園祭りを開催するなど、区として対応を考えて欲しい。
- ・骨子案の内容が変わっている。その都度資料は変更するのか。

⇒計画の内容が変更になった段階で、新しいものをお示ししている。

○その他

【次年度以降の部会進行方法について意見を聞きたい。】

- ・具体的な事例として虐待案件をあげるなど、虐待対応の見える化を検討して欲しい。
- ・地域共生社会のもと、障がい者の権利を守る必要がある。虐待を未然に防ぐ方法のチェック機能が必要。
- ・他の部会では事前に協議した結果を部会で検討し、自立支援協議会に報告しているところもある。権利擁護部会も、そのような部会にしていきたい。

【その他】

- ・発達障がい者支援センターの周知、パンフレットの配布
- ・平成 28 年に成年後見制度の促進が取り上げられているが、実行していく部署としては、課題に対応する仕組み作りと考えている。区では利用促進計画を準備しているところ。高齢や障がい別で計画をたてていくのが難しいとの判断で、介護保険事業計画の中に盛り込むことになった。ただ、成年後見人制度の仕組み作りについては、障がい福祉計画でも一文入れて欲しい。